

ひろしまフラワーフェスティバル

「筆の都くまの広報隊」が参加!



雨の中を練り歩く、筆の都くまの広報隊!!

5月3日(月)～5日(水)にかけて行われた「2004ひろしまフラワーフェスティバル」に「筆の都くまの広報隊」が参加し、今年で70回目を迎える「筆まつり」、全国一の生産量を誇る「熊野筆」や「筆踊り」、「彼岸船」など地域の産業、歴史、文化を掘り下げ、独自の地域資源として活用している熊野町の魅力をPRしました。

3日に行われた花の総合パレードでは、雨の中、小学生が元気いっぱい「彼岸船」を引き、後続の中学生と婦人会、銭太鼓のメンバーが両手に筆を持って「筆

踊り」を披露しました。熊野町に古くから伝わる伝統芸能に、沿道の観客からも、カメラのシャッターを切る音が聞かれ、多くの拍手をいただき、総合パレードのコンテストでは、見事にアイデア賞を受賞しました。

また、カーネーションステージでは、熊野中学校の2、3年生約150人が、和太鼓・篠笛・合唱・吹奏楽を中心に、在来の芸能をモチーフとして新たな地域伝統芸能の創造を目指した3部構成の組曲「筆の都くまの」を披露しました。

ブースでは、3日間、ブローのメーカーシップアーティ



雨にも負けず、彼岸船を元気よく引く小学生(上)と、カーネーションステージで熊野町伝統芸能を披露する熊野中学校生徒(左)。



ひろしまPステーションで公開生放送(広島市のみ放送)に出演した平本町長(上)、渡辺助役(左下)、城本商工会会長(右下)。